

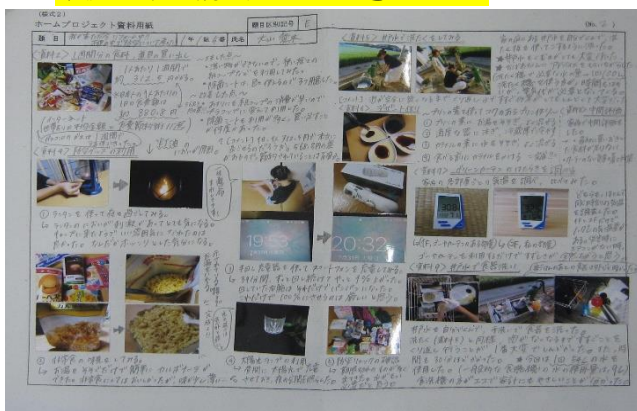
家庭クラブ減災新聞10月号 H30.10.20



平成最後の夏…7月には西日本豪雨災害、8月には台風21号による関西空港の浸水被害、9月には北海道胆振東部地震による災害、台風24号による被害、と立て続けに災害が発生しました。皆さんはどのような思いでニュースを見たでしょうか。また、それぞれの災害に共通して報道されていたのは「電気」「水」の不足だったように感じます。昨年度、防災士からの講習会で教えていただいたことが、実際に起きています。今月号では、課題解決型学習であるホームプロジェクトの宿題において、「E 住居部門」のうち「防災・減災」をテーマに取り上げて研究したレポートを紹介し、7月に発生した西日本豪雨災害での復旧作業の力になろうと現地を訪れ、ボランティア活動を行った家庭もあったようです。暑い中、実際に足を運んで、見たり聞いたり、経験したことをこれからの生活に役立てるとともに、いつ起こるか分からない災害に備えていきたいと思います。

1年1組 大山 愛未さん

題目「我が家ただ今リフォーム中！！
不便の中で防災について考えた！」



今回このホームプロジェクトを通して、災害に備えた心構え、準備ができた。「他人事だ。」とは思わず、積極的に防災に努めたい。

1年4組 高橋 伽菜さん

題目「MSP～もしもに備えるプロジェクト～」



今回の学習も、災害時に役立たなければ意味がない。防災食事を今後も定期的につくり、家族で会議をしたりして、災害時に生き延びられるようにしたい。

1年3組 矢野 大祐さん

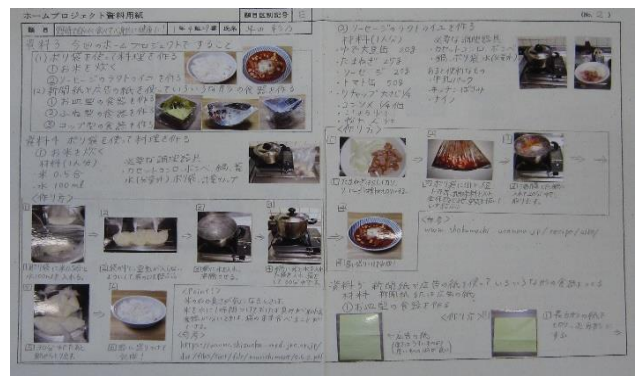
題目「防災対策プロジェクト
～リサイクルと準備で命を守る～」



今できることは今のうちにして災害が明日来ても、という危機感をもって生活し、非常食や装備を点検、交換するなど日頃から少しずつ準備したい。

1年4組 早田 彩乃さん

題目「災害時でもおいしく食べて心身ともに健康に！」



災害はいつ起きるか分からないので、日ごろから備えていきたい。そのためには、今回作った料理を改善し、多くのレシピをこれから調べて自分の知識として取り入れたい。

ホームプロジェクトを通して、これまで気づけなかったことに気づき家族全員で改善できました。普段から災害に対する物理的・精神的な備えをしっかりと行い、いざという時に「共助力」が発揮できるよう実践力を高めておきたいものです。

10月号担当
1年1組 岡田 拓海
1年3組 矢野 大祐

